

3 追肥方法

使用する肥料は、生育ステージや天候によって使い分ける。基準倍数より濃いと根が焼けて、肥料の吸収が悪くなるので表示してある倍数より濃くしない。

(1) 肥料の施用量 (かん水量：1株1.5ℓ/10a当り3,000ℓで試算)

肥料名(N-P-K:成分%)	現物量(kg)	倍数	備考
トミー液肥グリーン(6-8-8)	8.0	375	5段花房開花まで
トミー液肥ブラック(10-4-6)	5.0	600	6段花房開花以降
	4.5	667	下葉の摘葉後7日間
OK-F-1(15-8-17)	3.3	909	曇や雨天続き

(2) チッソ成分量1kg/10aを必要とする日数

月	5月		6月		7月			8月			9月	チッソ成分 量合計
	旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中		
早植え	5日	4日	3~4日						5日			26.5kg
中植え			5日	4日	3~4日			5日			21.5kg	
遅植え				5日	4日	3~4日	4日				14.5kg	

(3) 摘葉後の追肥量

摘葉すると吸肥量が押さえられるので摘葉後約7~10日間は通常の追肥量より約10%減らす。

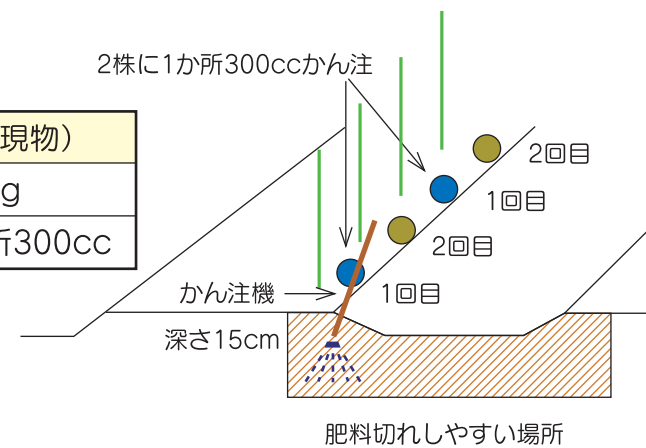
(4) かん注追肥と通路追肥

5段花房が開花する頃は、基肥が切れてくる時期であり灌水チューブによる畦内の追肥だけでは樹勢を維持できない。そこで、4段花房と6段花房開花頃、畦の肩にかん注する。また、7段花房開花頃にはかん水を兼ねて通路に追肥する。

1. かん注追肥

かん注追肥/10a

回数	施用時期	トミー液肥(現物)
1	4段花房開花	水300ℓに3kg
2	6段花房開花	100倍で1か所300cc



2. 通路追肥 (10a当り)

回数	施用時期	s646(現物)	通路かん水
1	7段花房開花	10kg	追肥後かん水を兼ねて土が5cm湿る程度行う

生産者個々の圃地で、栽培作型などかん水と追肥の施用管理は異なってきます。それぞれの管理を遅滞無く進め、増収に向いましょう。

かん水と追肥の管理について



液肥による追肥は、かん水と追肥を交互に行う「かん水交互追肥」とかん水のたびに追肥する「かん水同時追肥」の2通りの方法がある。この地区で多く使用されている灌水チューブは「かん水交互追肥」が適している。

1 かん水と追肥の方法

①かん水交互追肥(例)

日	1	2	3	4	5	6	7
かん水	●	●	●	●	●	●	●
追肥	●		●		●		●

②かん水同時追肥(例)

日	1	2	3	4	5	6	7
かん水	●	●	●	●	●	●	●
追肥	●	●	●	●	●	●	●

(1) 灌水チューブによる追肥方法の効果

追肥方法	効果
かん水交互追肥	<ul style="list-style-type: none"> かん水同時追肥に比べて、気温が高くても徒長しにくい 雨天時などでかん水を控える日数が長くても肥料が切れにくい 肥料過剰になりやすいので、生育診断による追肥が必要
かん水同時追肥	<ul style="list-style-type: none"> 気温が高いと徒長しやすく、一時的に肥料切れをおこし葉先枯れが多い 雨天などでかん水を控える日数が長くなると肥料が切れやすい 葉が大きくなりやすいので、生育後半の追肥に適する かん水量が少ない養液土耕栽培に適する

2 かん水方法

- かん水は水分要求量が高くなる午前8時~9時頃に行う。
- かん水量は気温や茎葉の繁茂状態によって変えるのではなく、1株1.5ℓを基準に天候状態をみながら、「1~3日おき」の間で調整して行う。ただし、予想最高気温が28℃以上の日は水分要求量が高いので1株2ℓ行う。
- 過剰なかん水は、生長点の萎れ、空洞果、先葉枯れが発生しやすい。
- かん水量

かん水管理	1株当り	10a当り	水分計(PF値)
通常かん水量(定期的に行うかん水)	1.5ℓ	3,000ℓ	
高温時かん水量 (予想最高気温28℃以上の日に行うかん水)	2ℓ	4,000ℓ	